

■会場／しろあと歴史館企画展示室

■時間／午前10時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

■休館日／月曜日(11月23日(祝)は開館)

11月4日(水)・24日(火)

(中央) 高槻藩主永井直清が大坂の陣で  
着用した甲冑(野見神社蔵・当館寄託)

(左・右) 高槻藩が定めた三角の前立を  
付けた藩士の甲冑(当館蔵)



令和2年  
10月10日[土]～12月6日[日]

刀・槍・甲冑

# 侍アート 高槻の武具

観覧無料

高槻藩士家や市内の旧家  
に伝来した槍(当館蔵)

**高槻来訪の記念に集めてみませんか**

しろあと歴史館では、高槻ゆかりの戦国武将「松永久秀」「三好長慶」の武将印、続日本百名城「芥川山城」の御城印を販売します。当館だけの限定販売です。

◎9月30日(水) 頒布スタート!  
◎各300円

**9月30日は永禄11年、  
織田信長が芥川山城に入城した日!**

御城印 武将印

**学芸員講座**  
**「高槻の甲冑と刀剣・槍」**

日時：12月1日(火) 午後2時～3時30分  
講師：千田康治(しろあと歴史館学芸員)  
会場：高槻市教育会館(しろあと歴史館西隣)  
定員：60人(多数抽選) 参加費：無料

◆11月17日(火)(必着)までに往復はがきまたはファックスで、講座名、住所、氏名、電話番号を書いて当館まで。

**併設 トピック展示**  
**氷室観音寺の仏像と高槻の仏像パネル展**

◆氷室観音寺旧蔵の仏像を展示し、市内の古寺に伝来する仏像を写真パネルで紹介いたします。

10月10日(土)～12月6日(日)  
観覧無料

# 侍アート 高槻の武具

## ～刀・槍・甲冑～



高槻藩主永井直清が後西天皇から拝領した「太刀 銘 景秀」  
(高槻市指定文化財、野見神社蔵・当館寄託)

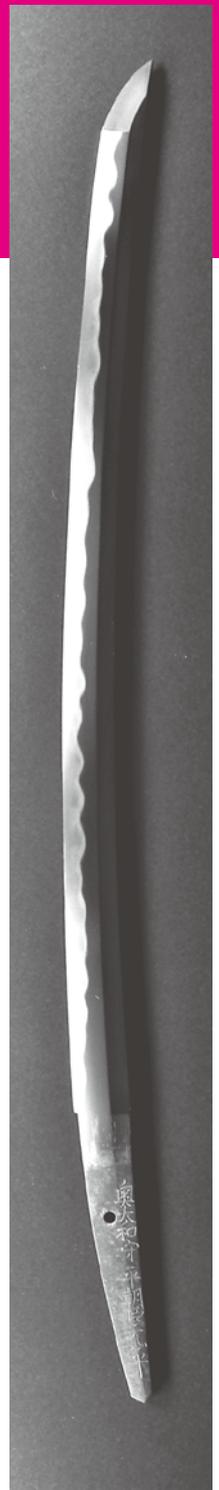
刀剣や甲冑に代表される日本の武具は、その精巧な出来から、戦いでの実用品としてだけでなく、美術工芸品としても高く評価されています。当館では、高槻藩士の子孫や市内の旧家・社寺、美術品収集家から寄贈・寄託を受けた刀剣類や甲冑の優品をはじめとする武具を多数収蔵しています。

高槻藩3万6千石の城下町であった高槻には、藩主や藩士が用いた甲冑、刀、槍などが伝来しています。中でも藩士の甲冑には、兜に藩の規定により三角の前立を付けるなどの特徴があります。また、町や村では家々が防犯のために、槍や薙刀を常備し、有力な町民や農民にとっては正装の際に脇指が欠かせませんでした。

本展では刀、槍、甲冑を中心に、高槻ゆかりの武具を紹介します。



幕末に高槻藩士が新調した甲冑 (個人蔵・当館寄託)



薩摩国(鹿児島県)の刀工・奥元平の脇指(神峯山寺蔵・当館寄託)



甲冑を持たない藩士用の御貸具足 (当館蔵)

### ■主な展示品

- ・高槻藩主永井直清が大坂の陣で着用した甲冑
- ・神峯山寺に伝来した刀剣
- ・舶来品の南蛮鉄を使用して作られた高槻藩士の刀
- ・防犯のため町や村の旧家に備えられた槍、薙刀、袖蓑 など

### ◆新型コロナウイルス感染症への対応 (お願い)

- 37.5度以上の発熱がある場合や咳、咽頭痛などの症状がある場合は、入館をご遠慮ください。
- ご来館時には、マスクの着用、手指の消毒、「利用申込書」の記入にご協力ください。
- 午前中に重症化リスクの高い方が優先的に見学できる「優先タイム」を設けています。
- 定期的に館内設備の消毒を行っています。



### 高槻市立しろあと歴史館

〒569-0075 大阪府高槻市城内町1番7号 TEL 072-673-3987 FAX 072-673-3984  
交通/阪急京都線高槻市駅から徒歩約10分 JR京都線高槻駅から徒歩約15分  
※ご来館には、環境にやさしい公共交通機関をご利用ください。

高槻市立 今城塚古代歴史館

令和2年度 秋冬企画展 『三島埴輪総覧』

令和2年10月10日(土)～令和3年2月23日(火・祝) ■会場：今城塚古代歴史館(大阪府高槻市郡家新町48番8号) 観覧無料